

January 2020

だい 第32号 ころ

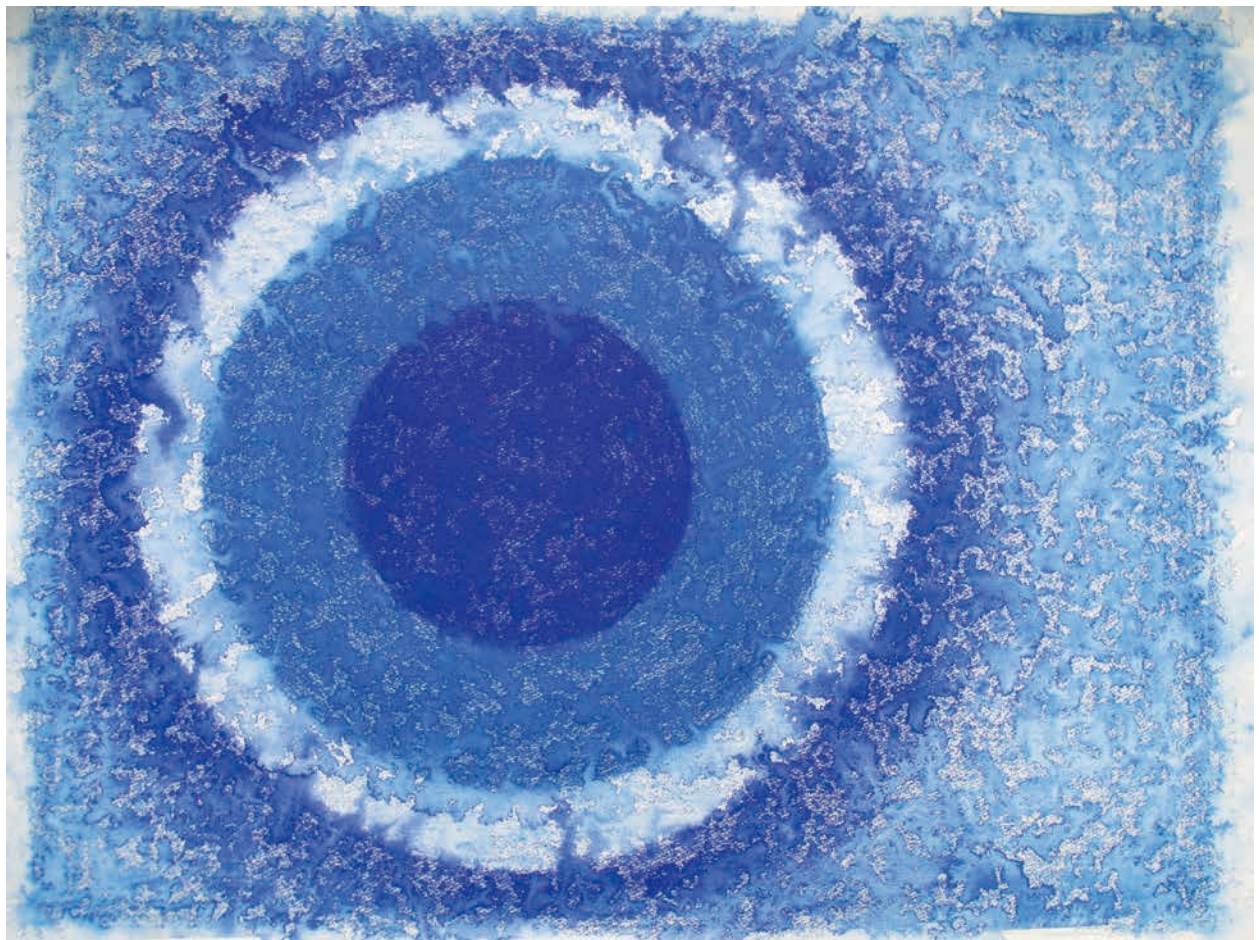
はつ 発行日 令和2年1月1日

はつ 発行責任者 吉岡 宏幸

ふれあい

しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人

ほっかいどうこうえいしゃ
北海道宏栄社



ひょうだい えん あめ こんせき
「表題：円～雨の痕跡」
え たかはし かずふみ
画：高橋 一文

もくじ

- 年頭のごあいさつ
ひょうぎいん こうたい
評議員の交代 2 頁
- 高橋一文さん「市長賞」受賞!!
しやうしやう じやう
就職決定!! 3 頁
- 職員の仕事（工場編：クリーニング2課）
しやういん しごと こうじやうへん
職員の日（生活支援課編） 4 頁
- 医務室便り♪／インタビューコーナー 5 頁
- 想い DE フォト 6～9 頁
- 就 労 支援部会の主催で企業見学をしました／
しやうろうし えん ぶかい しんせき きぎやうけんがく
安全対策について／
あんぜんたいさく
ほっかいどうち ほうこうせい ほ こ いんかいさま かんしゃじやう
北海道地方更生保護委員会様から感謝状をいただきました／
けいらいかいぜんかいぎ とりく
経営改善会議の取組み 10 頁
- 寄贈／新利用者さんの紹介／新職員の紹介／
きぞう しんりようしや しやうがい しんしよくいんしやうがい
表紙の画について／編集後記 11 頁
- 各施設のご案内／北海道宏栄社の所在地／
かくしせつ あんない ほっかいどうこうえいしゃ しやざい ち
施設の利用状況 12 頁

年頭のごあいさつ

理事長 吉村 克之



皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。
さて昨年の宏栄社を振り返りますと、当面する課題と向き合い、未来に向けての道づくりに
努めた一年でした。

まず入所利用者さんの高齢化、重度化が進んでいるため、一昨年 11 月から始めた工場とは
別の場での多様なニーズに応じた日中活動を、定着、充実させ、2 月からは夜勤体制を強化し
て支援を厚くし、QOLの向上を図りました。これらにより新たな利用者さんも増えました。

次には工場の機械の多くが老朽化しているため、「工場設備・機器更新計画」を策定し、新年度からの 10 年間
で主要機器 16 点を順次計画的に更新していくことにしました。

また人口減等で職員の採用難が生じているため、新たに大学 4 校、高校 1 校を訪問し、今後の新卒採用の糸口を
造りました。併せて将来の利用を必要とされる方のために、新たに特別支援学校 5 校を訪問し、PR に努めました。

このほか権利擁護のため、全従業員に新たに障害特性の研修を実施し、職場環境充実のため、ハラスメント
対策の規程も整備しました。

さらに大きなものとしては、法人の今後 10 年間の中長期経営計画の策定も進めております。
福祉関係では就労支援にも力を入れ、一昨年に続き新たに 1 名の一般就労を実現出来ました。工場・営業関係も
努力し、生産を安定させてホテルリネンサプライ部門の売上げを伸ばすことが出来ました。

これらの取組みを通じて、職員同士が部門を超えて協力・連携するようになり、組織としての結束力が向上して
きたものと嬉しく感じております。

新しい令和の時代となって、宏栄社では基本理念に基づき、利用者さんの権利擁護のため一層尽力してまいりま
すので、今後とも皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

評議員の交代



退任された
駒田 久人氏

平成19年2月に当法人の監事、そして同年5月には評議員に就任されるなど、現在ま
で12年間に渡って当法人を温かく見守っていただきました駒田評議員が、令和元年6月
30日をもって退任されました。

今までのご功績に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

6月30日付けで退任された駒田評議員の後任として、令和元年8月2日に開催された
評議員選任委員会にて、株式会社アイケア北海道代表取締役の安田友美子氏が新たに
評議員として選任されました。

安田友美子氏は、小樽や札幌などでグループホームや居宅介護支援事業所などの
高齢者に対する幅広い福祉サービスを提供されており、福祉に対する経験が大変豊富な
方で、当法人の評議員として適任な方です。

これからもよろしくお願いします。



新任の
安田 友美子氏

高橋一文さん「市長賞」受賞!!

この度小樽市で開催された第73回市展にて、宏栄セルプを利用されている高橋一文さんが、「市長賞」を受賞されました！昨年の「教育長賞」に続いての受賞となりました。この度の受賞について、ご本人からコメントをいただいております。

受賞作品『雨の痕跡2019～深層へ』



【高橋一文さんコメント】

ぼくは、小樽の方々に選んでいただけたことが最高の喜びでした。

宏栄社のみな様のあたたかい応援が力になっています。

自然が作った「雨の痕跡」と人工的な円を同時に画面に表現しました。

円は日本人の心の深層にあるものとして信じています。

この度は受賞おめでとうございます。

また、高橋一文さんには、「ふれあい」の表紙も担当していただいています。これからの作品もとても楽しみです。

就職決定!!

みんな買いに来てね!!

五十嵐悠人さんが、12月2日より「コープさっぽろ小樽南店」のデリカ（惣菜）部門に就職しました！

五十嵐さんから一言

3種類のピザを焼いています。初めは手順が多く不安でしたが、周りの人たちからのサポートもあり、楽しく仕事をしています。これから焼き鳥やお好み焼きなど沢山の種類を作ることになりますが、頑張ります。

就労支援員から一言

就職おめでとうございます。実習中は覚えることが多く心配していましたが、すぐに仕事にも慣れてテキパキ働いている五十嵐さんの姿を見て、頼もしく感じました。

これから大変なこともあると思いますが、私たちも見守り応援していきますので、頑張ってください！



（紙面担当／表涼楓、笠原悠希、高田栄一郎）

職員の仕事 (工場編: クリーニング2課)

「しわ」を伸ばすには、アイロンの重さが必要なんです。しかし、それだけではなく足もとのペダルを巧みに使い「しわ」のない商品をお届け出来るように取り組んでいます。



私は、今年で入職して5年目になります。前職は、障害者支援施設とは全く関係ない職場で働いていました。入職してみると利用者さんへの対応や、経験したことのない仕事ばかりで大変戸惑いました。

しかし、宏栄社では職場以外でも利用者さんと触れ合う機会がたくさんあり、障がいについて勉強する機会もあるので、今では自信を持って対応できるようになりました。また、職場では、現在アイロン仕上げを行っています。クリーニング業は、技術、知識が必要であり、とてもやりがいがある仕事だと思っています。

宏栄社の仕事は、福祉とクリーニング業を両立しなければならないため、日々勉強が必要で大変ですが、人のために、自分のためにもなる仕事だと思っています。

クリーニング2課2係主任 後藤 龍章

職員の一日 (生活支援課: 早番勤務編)

おはよう

7時10分～ 早番のお仕事が始まります。

起床、整容の支援を行います。

7時40分～ 朝食の見守りをします。食事量や利用者

さんの様子を確認しています。

朝食後は、朝礼準備や実習生の対応、通院送迎などを行っています。

日中活動の準備、クリーニング工場等へ行き、声をかけながら利用者さんの様子の確認を行います。

朝食の様子や作業中の様子などを記録します。

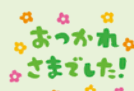
14時00分～ 入浴準備を行います。曜日によっては、

会議、シーツ交換、シーツ回収・配布などをします。

このほかに面談、行事の準備、見学者対応など業務を

こなしていきます。

15時20分～ 早番のお仕事が終わります。



入職してから6年目になります。利用者支援については、日々悩み、学びが必要だと感じています。ニーズや年齢層から求められる支援も同様に変化しているため利用者さん一人ひとりとのかかわりを大事にし必要な支援を提供できるよう心がけています。

また、年々後輩職員も増えてきています。

先輩に教えてもらう立場から、後輩

に教える立場へと

変化してきているの

を実感しています。

生活支援課主任

梶谷 怜史



医務室便り

あなたの喫煙指数はいくつ？ブリンクマン指数を知ろう

利用者さんは年2回（6月、12月）、職員・嘱託・パート・キーパーは、年1回（6月）の健康診断を実施しています。毎年、健康診断の際には『タバコ』についての問診があります。今年はその問診での検査データで『タバコ』の危険度をブリンクマン指数で表示しました。

タバコを吸っているあなた・・・**400以上は、肺がんに対する注意が必要です。**

ご自身でも試しに計算をしてみてください。

【ブリンクマン指数とは・・・計算式】

一日あたりの喫煙本数 × 喫煙年数

$$20 \text{ (本)} \times 20 \text{ (年)} = 400$$

【判定】

400以上	肺がん危険
600以上	肺がん高度危険
1200以上	咽頭がん高度危険

※ブリンクは、点滅という意味で、明かりがついたり消えたりすることです。



施設看護師 森山陽子

インタビューコーナー

今回は、おいしい食事を毎日作っていただいているシダックスフードサービス株式会社さんの栄養士の辰田さんにインタビューをしました。

■高田 辰田さん、今回はお忙しいところ、時間をつくっていただき、ありがとうございます。さっそくですが、1月発行の広報誌に掲載する記事のインタビューをお願いします。

■辰田 わかりました。

■高田 ええと、毎月やっているフェアメニューがありますよね。今はまだ11月なので秘密かもしれませんが・・・。こっそり1月のフェアメニューについて教えてもらえませんか？

■辰田 秘密ですがどうぞ(^O^)

■高田 ありがとうございます！このフェアメニューは、どうやって考えているんですか？

■辰田 シダックスの本部から送られてくる中から選んでいます。このフェアメニューは商品開発部がいろいろと考えてますね。



あと、シダックスグループの調理師や栄養士が考えたメニューもあるんです。内部でコンテストを開催して、美味しいメニューづくりに努めているんですよ。

■高田 そうなんですね。1月のフェアメニューはどんなイメージで選んだんですか？

■辰田 そうですね。1月は「体の温まるメニュー」というイメージですね。

■高田 いいですねえ。最後に1つ、いきなりなんですが・・・仕事をしていて嬉しい時ってどんなときですか？

■辰田 やっぱ、下膳の時の空の器を見ると嬉しいですね。あとは、利用者さんが「ごちそうさま」「おいしかった」と声をかけてくれた時は、やる気倍増です(^O^)

■高田 そのコメント、広報誌にしっかり載せさせてもらいます！

これからどうぞよろしくお願いします。今日はありがとうございました。

がつ か なつまつ
7月6日 夏祭り



てんこう めぐ
天候にも恵まれ、
まつ びより
お祭り日和となりました。

おも
想い

がつ か うんどうかい
8月4日 運動会



30℃を超える暑さでしたが、
あつ ま はくなつ たたか
暑さにも負けない白熱した戦いでした。



がつ か は けんしゅう
7月24日 歯の研修



ふだん なにげ おこな はみが
普段何気なく行っている歯磨きですが、
ブラッシングの大切さを学びました。



DEフォト

がつ か けんしゅうかい
9月5日 リハビリ研修会



おんがく あ
音楽に合わせての
たいそう むずか
体操は難しかったで
すが、みな えがお
で体操をしていました。

がつ にち ごんしんかい
9月28日 懇親会

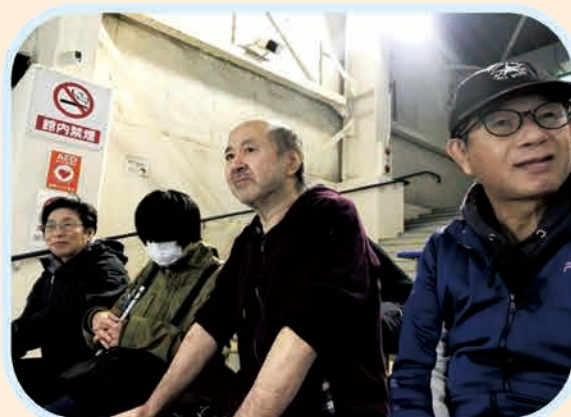


(紙面担当／中村葵、松本宏樹)

がつ か がいしゅつぎょうじ
10月8日 外出行事



すいぞくかん い
おたる水族館に行きました。
イルカのショーなど
イベントがたくさん見られて、
あっという間の1日でした。



おも
想い

がつ にち ひなんくんれん
10月31日 避難訓練



がつ か たつきゅうたいかい きっぽろし
11月4日 卓球大会 (札幌市)



はげ
激しいラリーに
おうえん
応援にも
ねつ
熱が入りました!!



がつ か たいかい おたるし
10月20日 ボウリング大会 (小樽市)



さんか りようしゃ
参加した利用者さんよりひとこと
「楽しかった！また参加したい!!」
らいねん がんば
来年も頑張ります!!



DEフォト



がつ か ぼうねんかい
12月14日 クリスマス忘年会



ことし きっぽろ げいにん めい
今年は「札幌よしもと」の芸人さん4名を
ゲストに招きました。たくさんのイベン
トやおいしい料理など、楽しいクリスマス
ぼうねんかい
忘年会となりました。



就労支援部会の主催で企業見学をしました



きたいちがらす はんばいてん けんがく
北一硝子の販売店を見学しました



こうえいしゃ せつめい
宏栄社について説明をしました



こうえいしゃ しごとたいけん
宏栄社で仕事体験をしました

令和元年10月28日(月)に就労支援部会の企業見学がありました。小樽市内の事業所から参加者を募り総勢23名が参加し、そのうち宏栄セルプからも2名が参加しました。北一硝子と北海道宏栄社を見学し、参加した方からは「働くことのイメージできた。」「企業の考え方を学べた。」といったような感想が沢山ありました。

安全対策について

工場と寮に安全対策カメラを設置しました。
工場に設置したカメラは、作業中の事故防止のため各フロアの廊下に6台設置した他、防犯のため外に1台設置しました。

寮に設置したカメラは、見守りや緊急時対応のため、玄関と廊下に合計9台設置しました。

これからも、働いている人、また、寮で生活をしている人の「安心・安全」を第一に考え、日々努力していきます。

北海道地方更生保護委員会様から感謝状をいただきました

北海道宏栄社は更生保護事業に地域貢献活動として取り組んでおり、この度北海道地方更生保護委員会様から感謝状をいただきました。これからも引き続き、積極的に地域に貢献していきます。

経営改善会議の取組み

2017年からスタートした経営改善ワーキンググループは今年の2月と3月の理事会への報告のため、準備を進めています。

具体的には、「重度障害者受入体制の整備」「工場設備・機器の更新計画の策定」「工場生産体制の見直し」「中長期経営計画策定」の4グループの発表です。

現在、各グループの委員は最後の詰め作業を頑張っているところで、次回の広報誌にはしっかりとした報告ができると思いますので、楽しみにしててください。

また、各グループから出ている意見や具体案については、すでに検討し実行しているものもあります。職員同士が職場の垣根を超えて話し合うことで、築き上げてきたものをこれからも大切にして前を向いて進んでいきたいとおもっています。



11月29日(金)中長期経営計画の中間発表会

寄贈 ～ありがとうございました～

寄贈いただいた方々をご紹介します。

- ・株式会社北海道日本ハムファイターズ 様（観戦チケット 18 枚）
- ・北海道コカ・コーラボトリング株式会社 様（清涼飲料水 9 ケース）
- ・株式会社 かま栄 様（ちくわ 160 本）
- ・日本中国料理協会小樽支部 様（シュウマイ 120 個）



株式会社かま栄様より寄贈

新利用者さんの紹介

岩瀬 理子さん（7月1日利用開始）

所属 北海道宏栄社（入所）

長谷川雄大さん（11月1日利用開始）

所属 北海道宏栄社（入所）

坂本 大地さん（11月20日利用開始）

所属 宏栄セルフ（通所）

新職員の紹介



上野 祐輔

（12月2日付採用）

所属 管理部生活支援課

コメント

頑張りますのでよろしくお願いいたします。

表紙の画について

【作者紹介】

○小樽市出身

○現在宏栄セルフを利用

- ・2018年第72回市展「教育長賞」
- ・2019年第73回市展「市長賞」
- ・2019年第94回道展「新人賞」



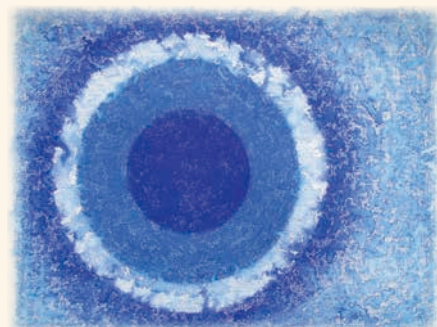
高橋 一文さん

【作品紹介】

作品名

「円～雨の痕跡」

水彩色鉛筆で濃淡を付けて描いた画面を本当の雨でにじませ模様を付けました。心の中の円を描きました。



編集後記

今回のふれあい32号は、去年の7月から12月までの出来事を主に掲載しました。今月号は、利用者さんの就職決定等、嬉しい記事が多く掲載することができました。昨年の4月から編集委員のメンバーが増えたことで誌面を作る作業に余裕ができ、ひとつひとつの記事に時間を掛けて考える事ができるようになりました。ページの右下に誌面を担当した委員の名前が載っていますので、そこも見ただけだと思えます。

ふれあい32号（新年号）をお楽しみいただけたら幸いです。

（編集委員長 高田栄一郎）

各施設のご案内



社会福祉法人
〒047-0011

北海道宏栄社
小樽市天神2丁目8番2号



電話代表 0134-25-1551 FAX 0134-29-3284

営業直通 0134-31-5625 FAX 0134-33-3178

ホームページ <http://www.koueisyasya.or.jp/> メールアドレス selp@koueisyasya.or.jp

(営業時間) 平日 8:40~17:00 土曜 8:40~14:50 (定休日) 日曜、元日

障害者支援施設

北海道宏栄社

障がいのある方に、施設入所支援を提供しながら、日中活動の場として生活介護事業を提供する施設です。

●施設入所支援事業

快適な寮生活を提供します。施設内はバリアフリーで居室はすべて個室です。入浴や食事も提供します。

●生活介護事業

日中活動の場として、軽作業等の生産活動の機会を提供します。希望に応じて食事の提供も可能です。

相談支援事業所 あおば

在宅の障がいのある方の生活上の困りごとや障がいについての質問、福祉サービスの利用について相談を受ける事業所です。

●一般相談支援事業

施設や病院を出て、地域で暮らすための地域移行支援・地域定着支援を行っています。

●特定相談支援事業

障がいのある方や児童に対して、障害福祉サービスを利用するためのサービス計画の作成や、一定期間ごとに評価（検証）を行い、サービス計画の見直しを行っています。

●障害児相談支援事業

TEL 0134-27-4722 FAX 0134-33-1131

メールアドレス aoba@koueisyasya.or.jp

(営業時間) 月～金 9:00～17:00 (定休日) 土曜、日曜、祝日、年末年始

障害福祉サービス事業

宏栄セルブ

障がいのある方に、自宅などから通っていただき、就労に向けてのサービスを提供する施設です。

●就労移行支援事業

一般の会社へ就労を希望する方に、おおよそ2年間、施設内での作業訓練や事業所での実習を行うサービスです。

●就労継続支援A型事業

障がい理由で一般就労が困難な方に、施設との雇用契約に基づく就労支援を提供するサービスです。

●就労継続支援B型事業

一般就労が困難な方に雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

●生活困窮者就労訓練事業

就労に困難を抱えた方に状況に応じた就労の機会を提供し、生活面や健康面での支援を行います。

福祉ホーム

宏栄社福祉ホーム

(居室数14室)

障がいのある方にバリアフリー対応の居室を提供します。
Aタイプ(42.24㎡)とBタイプ(28.8㎡)があります。

TEL 0134-24-7551

北海道宏栄社の所在地



施設の利用状況

(令和元年12月1日現在)

区分	定員	利用者数		
		男性	女性	合計
北海道宏栄社(入所)	54	43	10	53
宏栄セルブ(通所)	10	1	0	1
就労移行支援	10	8	1	9
就労継続支援A型	40	37	10	47
就労継続支援B型				

区分	居室数	利用中	空室
宏栄社	Aタイプ	6室(12名)	6室
福祉ホーム	Bタイプ	6室(8名)	7室
			1室

※各施設をご利用希望の方は、お問い合わせください。